

2004.9. 28 令和6年度精華会研修講演会

『女性と漢方』

富山大学学術研究部医学系
和漢診療学講座
貝沼 茂三郎

A satellite view of the Japanese archipelago, showing the main islands of Hokkaido, Honshu, Shikoku, and Kyushu. The land is depicted in shades of green and brown, with white clouds scattered across the surrounding blue ocean. A light blue callout box with a pointer is positioned over the central part of Honshu. Another solid blue box is located in the bottom right corner of the image.

漢方

中国由来の医学

日本の伝統医学

西洋医学と東洋医学

特定の標的に
絞った治療

西洋医学

体全体の
治癒力を促進

漢方医学

西洋医学では
原因を究明して
的を絞った治療を行う

漢方医学では
心を含む全身のバランスを整え
自然治癒力を高める



西洋医学で行われている作業行程

- 診断(病名)に従って薬剤を選択していく
- もし問題点が複数存在すれば(複数疾患)それぞれの病気に対応する薬剤を選んで併用投与する

例えば	血圧が高い	降圧剤
	コレステロールが高い	高脂血症治療薬
	両方あれば	併用

民間治療(薬)

漢方(薬)

使用目標が一つ

漢方的診断によって使う
陰陽・気血水などで分類

言い伝えられている

体系的に記載されている

一種類の生薬

数種類の生薬の組み合わせ

効かない事が多い

正しく使えば効くことが多い


漢方薬の特徴

■ 生薬から成っている

1つの生薬に複数の有効成分がある

■ 生薬の複合剤である

さらに多くの薬能が複雑に重なる

有効成分  効能

基本的な漢方の考え方

1. 陰陽の考え方

2. 気・血・水の考え方

漢方の基本概念

そのモノサシは病態の何を測っているのか

陰と陽

陰陽のイメージ



- 1) 暗い 2) 冷たい 3) 濁る 4) 重い
5) 遅く動く 6) 下にある など



- 1) 明るい 2) 熱い 3) 清む 4) 軽い
5) 速く動く 6) 上にある など

陰 陽 : 自然界の相対概念

	<陽>	<陰>
自 然	天 夏 昼 日向	地 冬 夜 日陰
食 物	体を暖める	体を冷やす
病 気	「熱」が主	「寒」が主

陰陽という考え方



1. 寒がりでも風呂出来ますか？
2. 入浴やカイロで温めると症状が改善しますか？
3. 冷房や冷たいものを摂ると症状が悪化しますか？

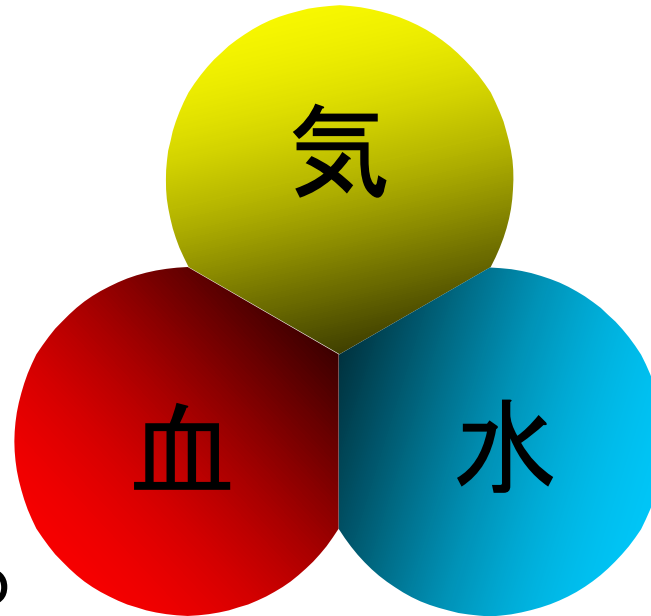
基本的な漢方の考え方

1. 陰陽の考え方

2. 気・血・水の考え方

生体を維持する三要素

生命活動を営む根源的エネルギー
失調病態：気虚、気鬱、気逆



生体を物質的に支える
赤色の液体
失調病態：瘀血

生体を物質的に支える
無色の液体
失調病態：水滯

気の異常

気とは何か？

生命活動を営む根源的なエネルギー

気 虚

気の不足

元気がない

疲れやすい

食欲低下

食後の眠気

集中力がでない





地図状舌＝氣虚を疑わせる所見

気鬱

気の停滞

頭冒感

喉にものがへばり
ついた感じ

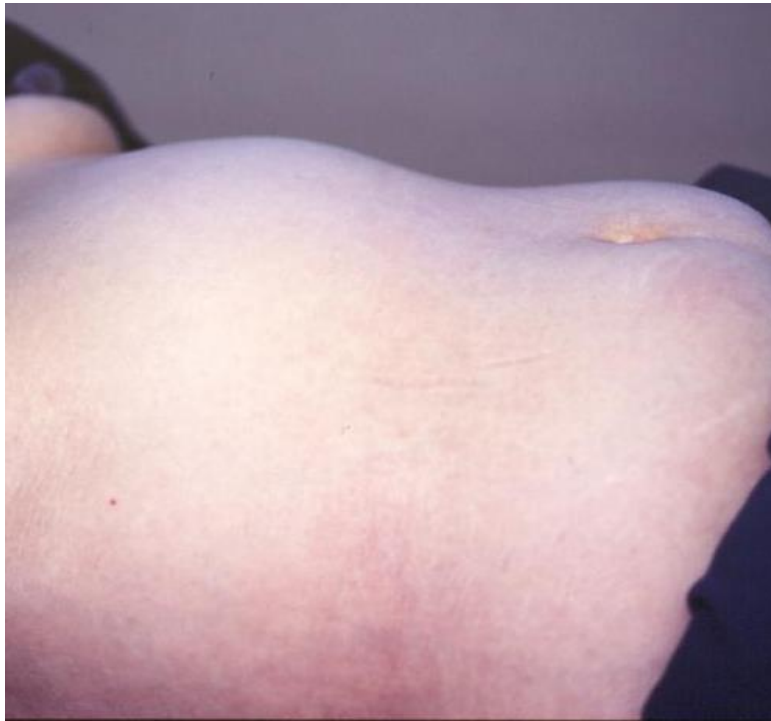
胸満感

腹満感

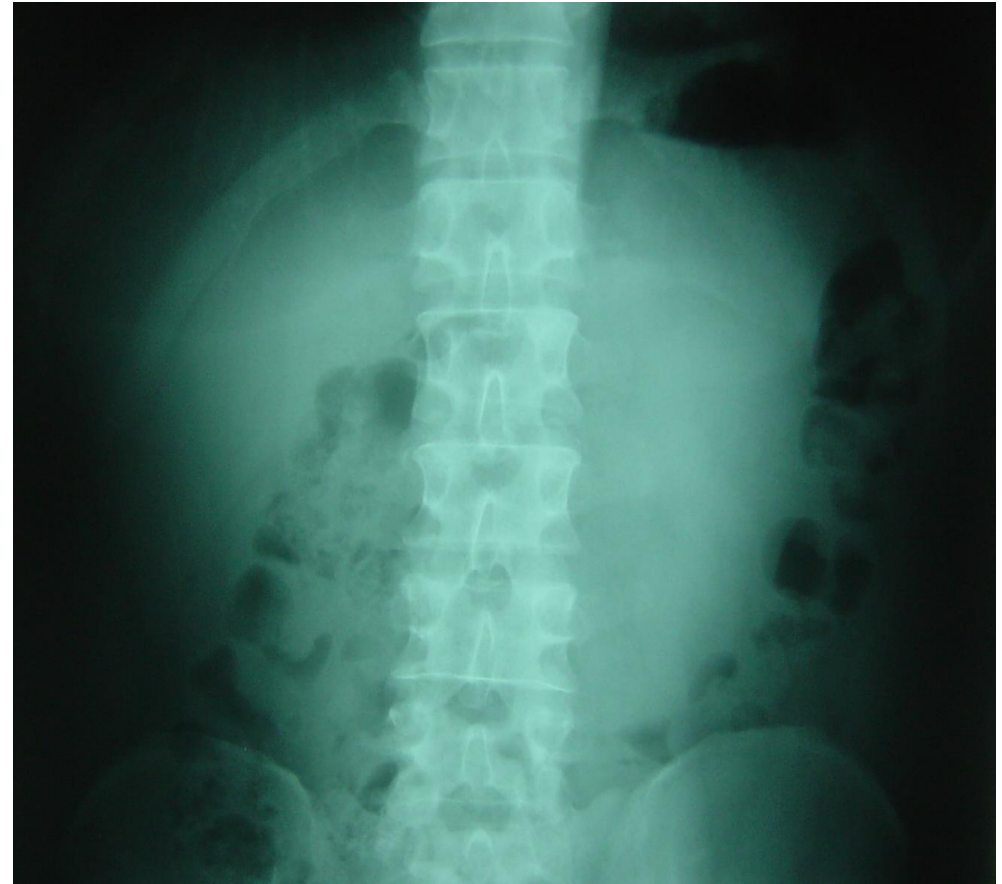
「もの言わぬは、腹ふくるる技」



膨満したお腹



腹部単純X線



気逆

気の上衝

発作的な頭痛

顔のほてり

冷えのぼせ

驚きやすい

動悸発作

不眠(中途覚醒 悪夢)



血の異常

瘀血（おけつ）

スラスラと流通すべき血が、何らかの原因によりつかえてスムーズに流れなくなった状態をいう言葉である

柴崎保三：瘀血に関する研究. 漢方の研究16. 1969

血の流通障害を意味するとともに流通障害を来たした後の非生理的（不健康）な血も意味する 例：打ち身の痕

成因 過食（高脂肪・高蛋白・動物食） ステロイド剤
外的ストレス（寒・湿・熱） 打撲 手術 内出血
精神的ストレス 睡眠不足 便秘

瘀血の症候(1)

① 精神神経症状

健忘 精神異常 感情失調 のぼせ感 眩暈 頭痛 頭重感

② 血流異常

手足の冷え 青紫色を帯びた舌 手足の麻痺 どす黒い顔色
手足の煩熱 静脈瘤および静脈の怒張

③ 皮膚や粘膜の変化

唇の青黒色 歯齦の青黒色 皮膚の斑点や色素沈着
皮膚の知覚異常 皮膚の乾燥 鱗片状落屑 さめ肌
皮膚の毛細血管拡張(細絡)

瘀血の症候(2)

④ 腹部の変化

腹部に触れる抵抗や硬結 腫瘍 腹満感

⑤ 女性生殖器系症状

月経不順 月経過多 希少月経 無月経 月経痛
不妊 帯下 産後の不調

⑥ 出血及び出血傾向

目でみる瘀血

瘀血を示唆する視診所見





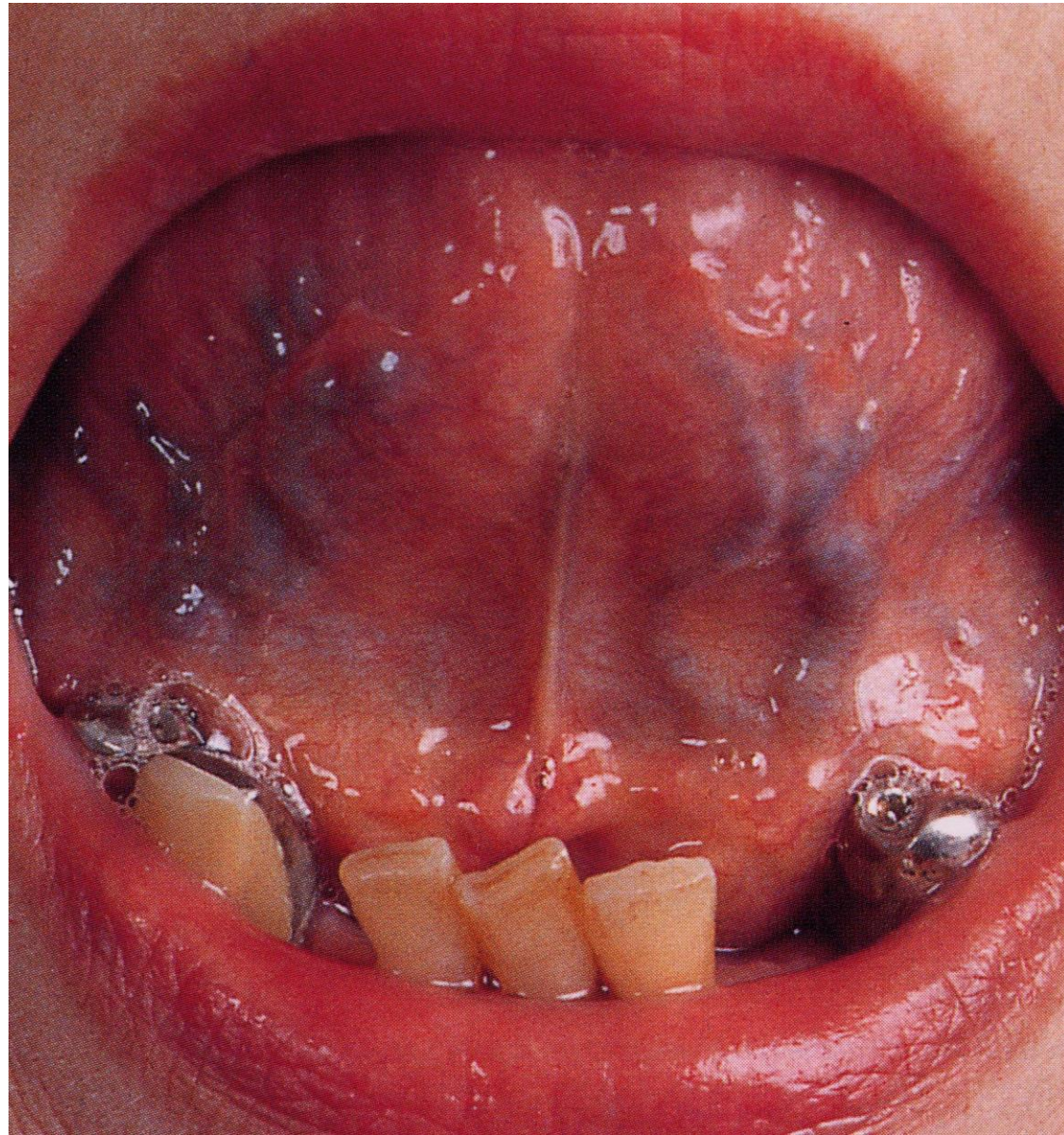
眼輪部の色素沈着



顔面の色素沈着



舌の暗赤化



舌下静脈怒張



細 絡

健康人

患者



手掌紅斑



皮下溢血

瘀血はお腹を診ればわかります



瘀血の圧痛（瘀血塊）



瘀血塊

血 虚

主に出血により、体外に漏出、または慢性
消耗性疾患や薬剤により産生が低下し、
血の働きに不足をきたした状態

貧血

爪がもろい

脱毛

こむらがえり

皮膚乾燥

集中力低下



水の異常

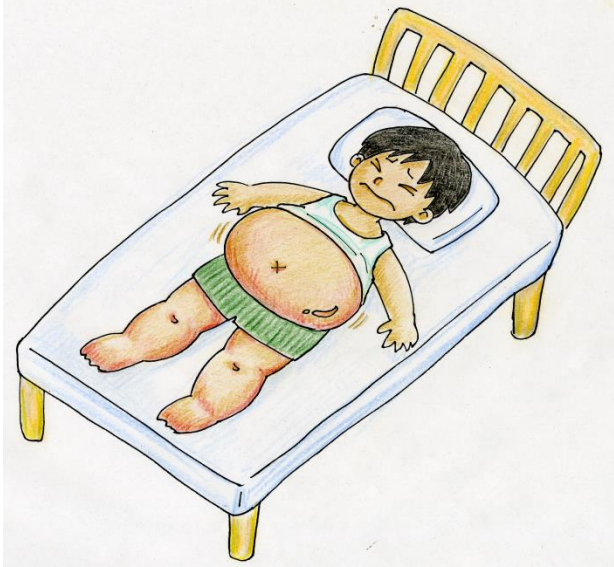
水毒(滞)

水分代謝の異常(過剰、偏在)

日本は高温多湿なので水毒の人が多い



水毒の徴候



体内の
異常な貯留
浮腫・胸水
腹水など



分泌物の異常
水様性鼻汁
など



内耳関連の症候
めまい・めまい感
ふらつき・耳鳴

漢方診療の実際



どんな時に漢方を

- 冷え性、虚弱体質など西洋医学的に診断がついていない方
- 現在治療を受けているが、副作用などで困っている方
- 診断がついているが、西洋医学的に十分な治療手段がない方
- 高齢の方などで、多くの病気を同時にかかえている方

女性のさまざまな症状も漢方治療のよい適応です。

古代中国人が考えた女性のライフサイクル

女子 七歳 腎気盛、齒更髪長

二七 而天癸至、任脈通、太衝脈盛、月事以時下、故能有子

三七 腎気平均、故真牙生而長極

四七 筋骨堅、髪長極、身體盛壯

五七 陽明脈衰、面始焦、髪始墮

六七 三陽脈衰於上、面皆焦

七七 任脈虚、太衝脈衰少、天癸竭、地道不通
故形壞勢時無子也

女性のライフサイクルと疾患(1)

西洋医学

漢方医学

小児期	思春期が近づくにつれ ES分泌が増加	7歳	歯が生え替わり、 毛髪が長くなる
思春期	第2次性徴が発現 平均12歳で初潮が発来 9~10歳 ES分泌の急増	14歳	月経が始まり 出産が可能になる
成人期	規則正しい卵巣・子宮周期	21歳	性徴が終り、女性としての 身体が出来上がる
妊娠期	妊娠・分娩の機能を有する	28歳	心身ともに充実し、毛髪は 最も豊かになる

ES:エストロゲン

女性のライフサイクルと疾患(2)

西洋医学

漢方医学

産褥期 35歳以降 妊孕能が低下

35歳 老化が始まり、肌の潤い・ツヤがなくなる

42歳 肌の衰え、白髪が目立つようになる

更年期 卵巣機能が衰退し始め
平均50歳で閉経を迎える

49歳 閉経を迎え、
生殖能力が失われる

老年期 ESの低下が進み、
生殖機能・第2次性徴が失われる

漢方治療の対象となる女性疾患

I. 月経異常・不妊・不育領域

無月経 無排卵周期症 稀発月経 頻発月経 黄体機能不全症
高PRL血症 卵胞発育不全 習慣性流産 子宮内膜症
月経前緊張症 月経困難症 子宮筋腫

II. 更年期医学領域

更年期不定愁訴症候群 更年期不正出血 冷え症
萎縮性膣炎 高脂血症 骨粗鬆症

III. 産科領域

妊娠悪阻 切迫流産・早産 妊娠中毒症 妊娠中(貧血・感冒)

漢方治療の対象となる女性疾患

I. 月経異常・不妊・不育領域

無月経 無排卵周期症 稀発月経 頻発月経 黄体機能不全症
高PRL血症 卵胞発育不全 習慣性流産 子宮内膜症
月経前緊張症 月経困難症 子宮筋腫

II. 更年期医学領域

更年期不定愁訴症候群 更年期不正出血 冷え症
萎縮性膣炎 高脂血症 骨粗鬆症

III. 産科領域

妊娠悪阻 切迫流産・早産 妊娠中毒症 妊娠中(貧血・感冒)

冷え症と漢方

「ひえしょう」って何？

冷え性？ 冷え症？

冷え性

血の循環が悪くて 冷えやすい体質をいう

広辞林 第6版

冷え症

身体の他の部分は まったく冷たさを感じない
ような室温において身体の特定の部位のみが
特に冷たく感じる場合をいい その発現は絶対温度
だけにより決定されるものではない

医学大辞典(南山堂)

冷え症

通常の人が苦痛を感じない程度の温度環境下において
腰背部 手足末梢 両下肢 偏身 あるいは 全身的に異常な
冷感を自覚し この異常を一般的には年余にわたって持ち続
ける病態をいう。多くの場合 この異常に関する病識を有する。

寺澤捷年：生薬学雑誌 41.1987

冷えの三大別

全身が冷えるタイプ



足は冷えるが、頭はのぼせるタイプ



手足の先が冷えるタイプ



“冷え”の三大別とその代表的方剤

主要型

特徴

漢方治療

1. 全身型(真寒)

全身的な「寒」
典型的“冷え性”

茯苓四逆湯
八味地黄丸

2. 上熱下寒型

気(血)の上衝
温熱刺激でのぼせ

桃核承気湯

3. 四肢末端型

瘀血(血虚)
レイノー様 凍瘡

(虚証) 当帰芍薬散
(実証) 桂枝茯苓丸

“冷え”の三大別とその代表的方剤

主要型

特徴

漢方治療

1. 全身型(真寒)

全身的な「寒」
典型的“冷え性”

茯苓四逆湯
八味地黄丸

2. 上熱下寒型

気(血)の上衝
温熱刺激でのぼせ

桃核承気湯

3. 四肢末端型

瘀血(血虚)
レイノー様 凍瘡

(虚証) 当帰芍薬散
(実証) 桂枝茯苓丸

茯苓四逆湯（ぶくりよしぎやくとう）

使用目標 寒がりで、非常に体のだるさが強い
手足の冷えが強く、脈の力も弱い

附子



四肢・腹部を温める
鎮痛効果がある

乾姜



四肢・腹部を温める
胃腸の働きを高める



八味地黄丸(はちみじおうがん)

腎虚



山薬



“冷え”の三大別とその代表的方剤

主要型

特徴

漢方治療

1. 全身型(真寒)

全身的な「寒」
典型的“冷え性”

茯苓四逆湯
八味地黄丸

2. 上熱下寒型

気(血)の上衝
温熱刺激でのぼせ

桃核承気湯

3. 四肢末端型

瘀血(血虚)
レイノー様 凍瘡

(陰証) 当帰芍薬散
(陽証) 桂枝茯苓丸

桂枝茯苓丸(けいしぶくりょうがん)

暑がりで長風呂できないタイプ



桂皮



茯苓



桃仁



芍薬



牡丹皮

『立てば芍薬
座れば牡丹、
歩く姿は
百合の花』

当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)

寒がりだが、長風呂ができないタイプ



当帰



芍薬



川芎



茯苓



白朮



沢瀉

“冷え”の三大別とその代表的方剤

主要型

特徴

漢方治療

1. 全身型(真寒)

全身的な「寒」
典型的“冷え性”

茯苓四逆湯
八味地黄丸

2. 上熱下寒型

気(血)の上衝
温熱刺激でのぼせ

桃核承気湯

3. 四肢末端型

瘀血(血虚)
レイノー様 凍瘡

(虚証) 当帰芍薬散
(実証) 桂枝茯苓丸

桃核承気湯(とうかくじょうきとう)



冷えのぼせ 便秘 精神症状

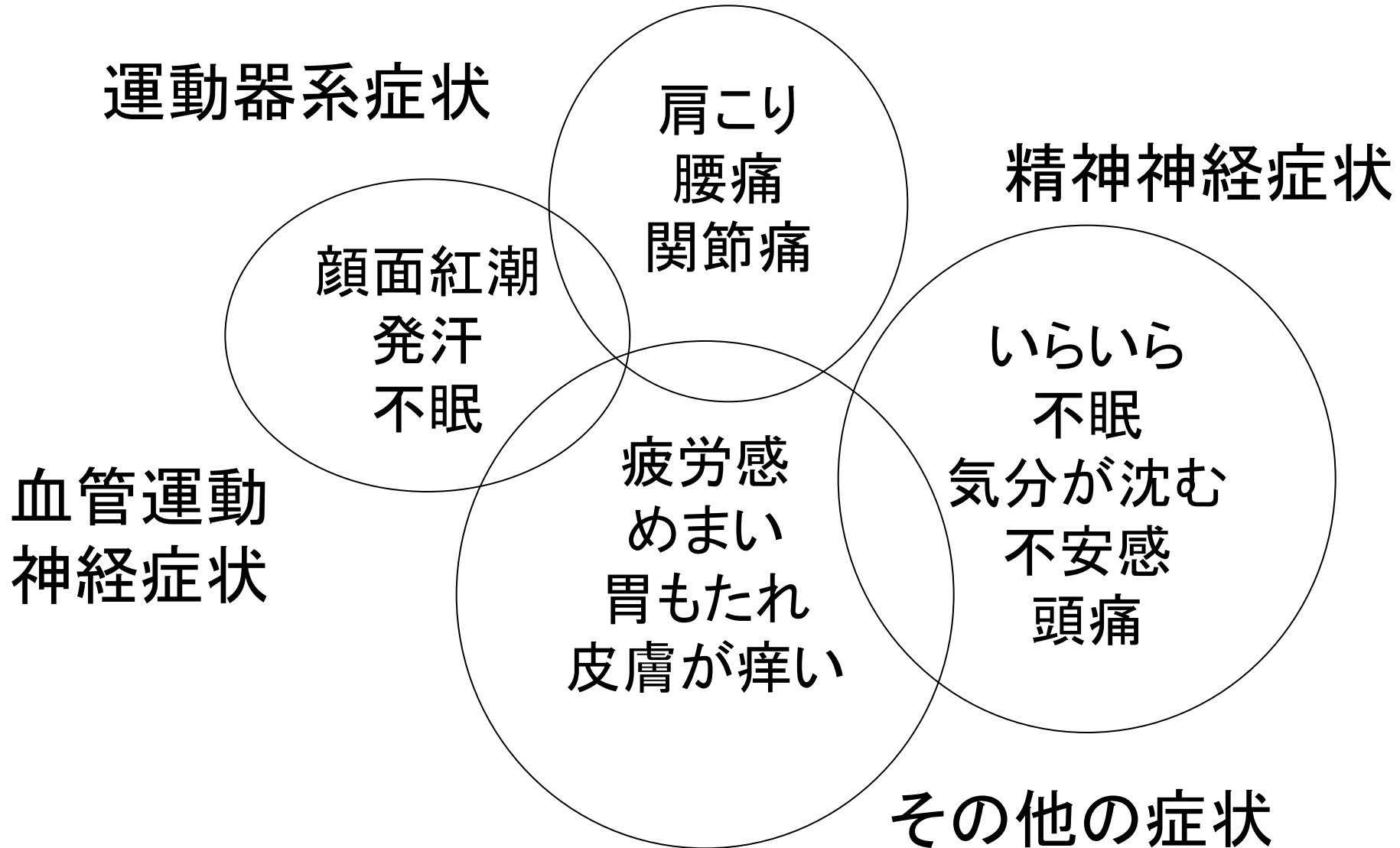
更年期障害の定義

「更年期に現れる多種多様の症候群で、
器質的変化に相応しない自律神経失調症を
中心とした不定愁訴を主訴とする症候群」

更年期障害にみられる症状

- 顔や上半身のほてり
- 発汗
- 寝つきが悪い
- 中途覚醒
- 興奮、いらいら
- 精神不安
- 些細な事が気になる
- くよくよし、憂うつ
- 無気力、易疲労
- 眼精疲労
- 記憶力低下、物忘れ
- めまい
- 動悸
- 胸がしめつけられる
- 頭重、頭痛
- 肩や首の懲り
- 背部痛、腰痛
- 手足の関節痛
- 腰や手足の冷え
- 手足(指)のしびれ
- 音に敏感

複数の要因による複数の症状が重複して出現



加味逍遙散

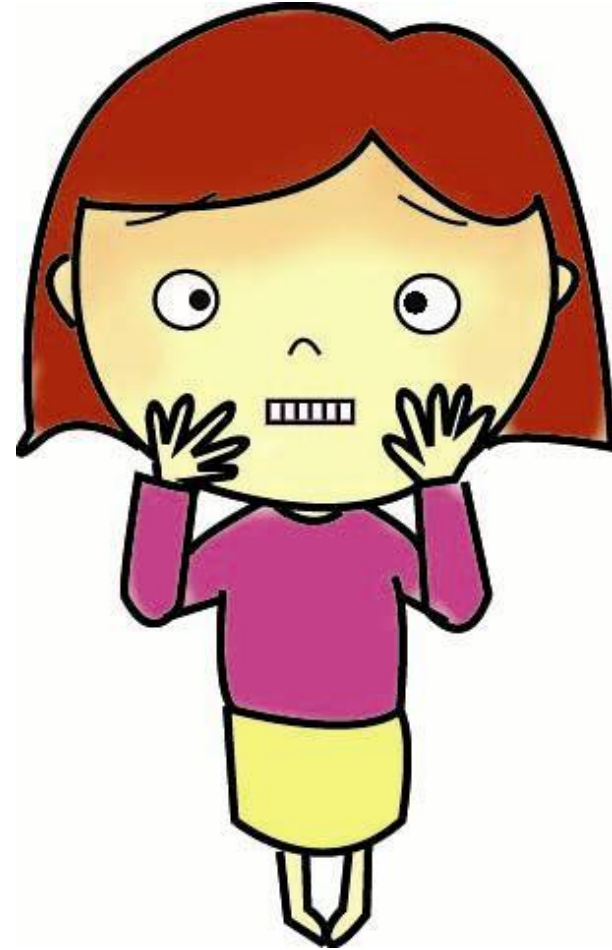
(かみしょうようさん)



火照り、イライラ

柴胡桂枝乾姜湯

(さいこけいしかんきょうとう)



不眠、気持ちが落ち着かない